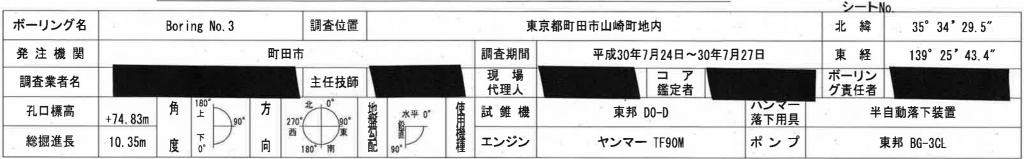
ボーリング柱状図

調査名

忠生33号線(山崎2)地質調査業務委託(その2)

ボーリングNo. | 1 8 0 7 1 8 - 0 3

事業·工事名



	標		深	柱状	±	色	相	相	記	孔	,				標	準 貫	入	試	缺			原	位置試験	試	料採取		案
0	÷		rts.		質区		対	対相	3 3	孔内水位 E	NOTE	10cm毎の 打撃回数		打擊回数				N - 0	值 一		41	深	試 験 名および結果	深度	試	採	室内試験へ
	高		度			9	密			ノ測定月日	度	O 1	0 20 ≀ ≀	数/貫入	6							度	ALC: C		料番	取方	
1	m	m	m	図	分	調	度	度	事	目	m	10 2	0 30	量	Q	10	- 2	20 3	0	40	50 6	m 0		m	号	法	J
									■細礫が混入する灰褐色のシ					s.		-											
	.				盛			非党	ルト及び褐色のロームからな		1. 15	1	2 2	5 30	5.0	9											
					盛主。粘性主	黄褐~ 灰褐~		n n	0~1m間は粗礫、泥岩屑及び瓦 礫が混入する 1~3m間は全体に2~10mm程度 の礫が混入するが、3m以深は		2. 15		2 1	4	4.0	•						7.2					
				\mathbb{A}	至			中位	の礫が混入するが、3m以深は 礫の混入量は少なくなる 4m付近、粘土質シルトを挟む		2. 45 3. 15		5 5	200					Sec.	2				3.00			AL TER
	70, 63	4, 20	4, 20							7/2/	3.46 4.15	18 1	3	31	1.9	Y =				5				3,90	3-D-3n	別孔	物理 CU
	70, 03	0.60			シルト	- 黒褐			■やや腐植臭のあるシルト A KM性中位	4.60	4. 47	20 1	2	32	1, 9	4							1.	1 35% 52			
5					砂湿し	J 暗灰~		非常	無水掘りを行い、4.60mに水位を測定した。 ■全体に砂が混入する均質な		5. 15 5. 45	3	5 10	18	18.0		b					7		5.50			物理
6	68, 83	1, 20	6.00	382	シルト	暗灰~		しい	シルト 粘性中位		6. 15	17 3	3	50 20	75. Q						•	-		6, 25	8-D-5m	別孔	能
7			4					-			6. 35 7. 15	20 3	00	50	П									-		<	
			- 52		砂質		×		■全体に砂分が混入し、固結 状をなすシルト SDIではつア討判が採取される		7. 33		8	18	83.3											F	
٩					見固結シー	贈灰		固結	SPIではコア試料が採取されるコア試料は指で押すつぶすとユナ砂状に砕ける	-	8. 15 8. 33	18 3	82	50 18	83.3			- 7			0			- 1	-		
9					*				所々、軽石が少量混入する		9. 15 9. 34	21 2	9	50 19	78.9						φ	I		-			
0	64, 48	4 35	10.35			3					10 16	19 3					0				-			-			
1			ALKN.								10.35			20	75. d	-					Ĭ	-					